

【ICT ツールを用いた実学講座】 箕面学園高等学校

＜授業展開例＞ 2020年11月21日 「自助・共助・公助について考えよう」

箕面学園高等学校にて、ICT ツールを用いて講師と生徒が非対面の形式で出前講座を行いました。
講師は機材のみが設置してある教室で授業を行い、リアルタイムで各教室へ投影する形式で実施されました。

「自助・共助・公助について考えよう」

【授業概要】

実施日 : 2020年11月21日(土) 1校時 8:50~9:35 (45分)

実施校 : 箕面学園高等学校

授業者 : 生命保険文化センター 高橋 みのり

学 年 : 1~3 学年

教 科 : 総合学習

ねらい : ・自助、共助、公助の考え方について理解する。

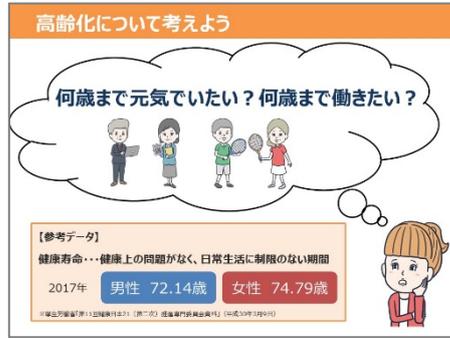
・社会保障制度と自助（預貯金・民間保険等）について、特徴や保障などを理解する。

・社会保障制度を持続可能なものにするために、自助・共助・公助の適切な組み合わせについて考える。



5:00

歳（年少人口）は12.2%です。
今後どのように推移していくかを確認しましょう。2040年を見てください。65歳以上（老年人口）は35.3%、15～64歳（生産年齢人口）は53.9%、0～14歳（年少人口）は10.8%です。老年人口の割合は増え、生産年齢人口の割合は減っています。今度も少子高齢化が進んでいくと推計されています。



(資料 PPT)

(講師) 少子高齢社会の中で、皆さんは老後を迎えることになります。自分が高齢者になったときをイメージしてみましょう。皆さんは、何歳まで元気でいたいですか？何歳まで働きたいですか？この問いについて考えるうえで参考となるのが、健康寿命です。健康上の問題がなく、日常生活に制限のない期間のことです。男性が72.14歳、女性が74.79歳です。このデータを踏まえて、自分はどのような老後を迎えたいか想像してみてください。



(資料 PPT)

(講師) また、平均寿命という言葉があります。0歳の子どもが平均して何歳まで生きられるかを示す指標です。日本の平均寿命（2018年）は男性が81.3歳、女性が87.3歳です。平均寿命と健康寿命には差があります。健康寿命を過ぎた後、平均寿命を迎えるまでの期間は健康上の問題や日常生活に制限が生じることになります。例えば、病気で入院をする、介護が必要な状態になるなどです。働いて収入を得ることが難しい状況であるにも関わらず、治療費や介護費用などの支出が発生します。そんな老後の生活を支える手段があります。

2020 年以上は推計値
・少子高齢化の現状を把握する

・2017年の平均寿命都健康寿命の差は男性8.84年(平均寿命80.98歳)、女性12.35年(平均寿命87.14歳)

・次章の自助・共助・公助の説明への展開として、老後の生活を支えるものとして「自助・共助・公助」があることを伝える

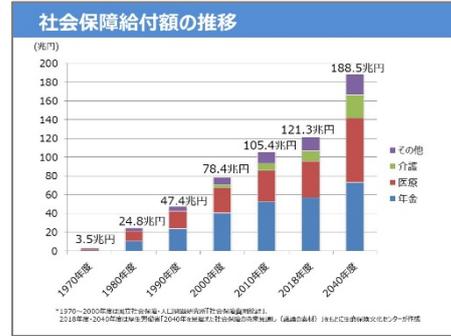
<展開 1> 社会保障制度について 10分

時間	学習形態	学習活動（授業の流れ）	指導上の留意点
10:00	一斉講義	<div data-bbox="459 257 909 593"> <p>(資料 PPT)</p> </div> <p data-bbox="343 631 414 660">(講師)</p> <p data-bbox="454 631 1260 952">自分の身を守るための考え方として、「自助・共助・公助」があります。自助は自分で守ることを言います。代表的な手段として、預貯金や民間保険などが挙げられます。共助は、みんなで出した社会保険料をもとに、共に支え合うことを言います。公助は税金(租税)をもとに国が守ってくれることを言います。共助・公助の代表的なものとして、社会保障制度が挙げられます。最初に、共助・公助にあたる社会保障制度について紹介します。</p> <div data-bbox="459 1025 909 1361"> <p>(資料 PPT)</p> </div> <p data-bbox="343 1400 414 1429">(講師)</p> <p data-bbox="454 1400 1260 1478">社会保障制度は 4 つの柱で成り立っています。社会保険は共助、それ以外の 3 つは公助に当てはまります。</p> <div data-bbox="459 1552 909 1888"> <p>(資料 PPT)</p> </div> <p data-bbox="343 1926 414 1955">(講師)</p> <p data-bbox="454 1926 1260 2094">共助と公助で財源が異なります。共助は労働者等から集める社会保険料、公助は国民から集める税金、租税で運営されています。集められたお金が実際にどれくらい使われているのかデータで見ましょう。</p>	<p data-bbox="1284 631 1492 757">・自助、共助、公助の考え方について理解させる</p> <p data-bbox="1284 1400 1492 1668">・次のスライドへの展開として、社会保険は「共助」、その他 3 つは「公助」に該当する古都も伝える</p> <p data-bbox="1284 1926 1492 2094">・共助は一部租税でも賄われている ※例：国民年金は 1/2 が国庫（租税）</p>

15:00

個人ワーク

(講師)



(資料 PPT)

グラフの 2018 年度を見てください。121.3 兆円支払われています。2040 年度には 188.5 兆円まで増えると推計されています。少子高齢化が進むとともに、社会保障給付額も増えていきます。将来皆さんを含めた働き盛りの世代が社会保障制度を支えていくことになります。持続可能な社会保障制度のあり方について考えていくことが大切です。グラフの内訳を見ると、多くを介護、医療、年金が占めています。全て社会保険に係わる費用です。次のスライドでは社会保険について紹介します。

負担

・給付額の多くは社会保険に係る費用であることに触れ、次スライドで社会保険について説明を行うことを伝える

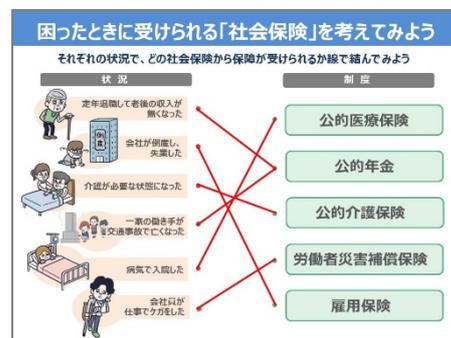


(資料 PPT)

(講師)

社会保険の 5 つの制度について簡単に説明。

・詳細な説明は避け、社会保険から様々な保障を受けられることを伝えられればよい



(資料 PPT)

(講師)

では、それぞれの状況で、どの社会保険から保障が受けられるか具体的に考えてみましょう。

※グループで考えてもよい

(生徒)

→ある程度生徒の記入が終わったら、答え合わせ

(講師)

ここまでは共助・公助にあたる社会保障制度について紹

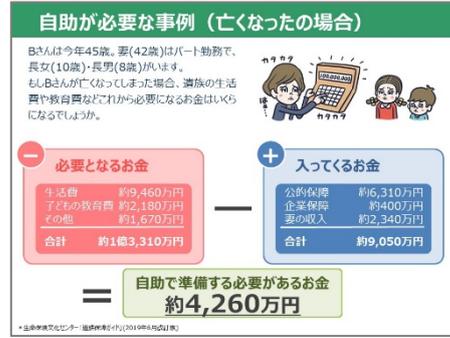
		介しました。	
--	--	--------	--

<展開2> 自助って何？ 10分

時間	学習形態	学習活動（授業の流れ）	指導上の留意点						
20:00	一斉講義	<div data-bbox="459 353 906 694" data-label="Diagram"> <p>自分の身を守るために</p> <p>自助 自分で守る (預貯金, 民間保険)</p> <p>共助 共に支え合う (社会保障制度, 公助 困った人を助ける)</p> <p>(資料 PPT)</p> </div> <p>(講師) 続いて、自助について紹介します。代表的な手段として預貯金と民間保険があると先ほど説明しました。どのような場面で自助が実際に必要になるのか、事例を見てみましょう。</p> <div data-bbox="459 981 906 1321" data-label="Diagram"> <p>自助が必要な事例（骨折の場合）</p> <p>Aさん（23歳）は、友人とスキーホードをしているときに、足をひねる状態で転倒しました。レントゲン検査の結果、むじらよみ骨折しており、翌日手術を行いました。そして22日目には無事退院をすることができました。このとき、医療費などはいくらかかっていましたか。</p> <table border="1"> <tr> <td>- 必要となるお金</td> <td>+ 入ってくるお金</td> </tr> <tr> <td> 骨折した医療費 約176万円 その他 約8万円 合計 約184万円 </td> <td> 公的保険 約164万円 合計 約164万円 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> = 自助で準備する必要があるお金 約20万円 </td> </tr> </table> <p>*医療費自己負担率（自己負担割合）20%を仮定して算出</p> </div> <p>(講師) 骨折をして入院をした場合、医療費等のお金が必要となります。この事例の場合、約184万円かかっています。共助である社会保険（公的医療保険）からケガの治療費を受け取ることができます。この事例の場合、約164万円を受け取ることができます。「必要となるお金」から「入ってくるお金」を差し引いた金額が「自助で準備する必要があるお金」です。この事例の場合、約20万円を預貯金や民間保険などの手段で準備する必要があります。</p>	- 必要となるお金	+ 入ってくるお金	骨折した医療費 約176万円 その他 約8万円 合計 約184万円	公的保険 約164万円 合計 約164万円	= 自助で準備する必要があるお金 約20万円		<p>・「自助」で準備する必要があるお金を備えておく手段として、預貯金や保険がある</p>
- 必要となるお金	+ 入ってくるお金								
骨折した医療費 約176万円 その他 約8万円 合計 約184万円	公的保険 約164万円 合計 約164万円								
= 自助で準備する必要があるお金 約20万円									

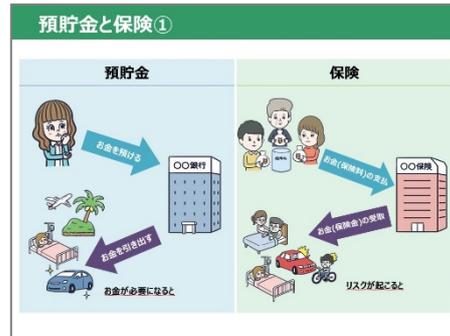
23:00

(講師)



(資料 PPT)

続いて、一家の働き手が亡くなった場合です。残された家族の生活費や子どもの教育費等が必要になります。合計で約1億3,310万円が必要となる事例です。入ってくるお金は、共助である社会保険（公的年金保険）や、この場合は亡くなった本人の勤め先からお金が受け取れます。この他、結婚相手、この事例では妻の収入も合わせると約9,050万円になります。結果、自助で準備する必要があるお金は約4,260万円と考えます。



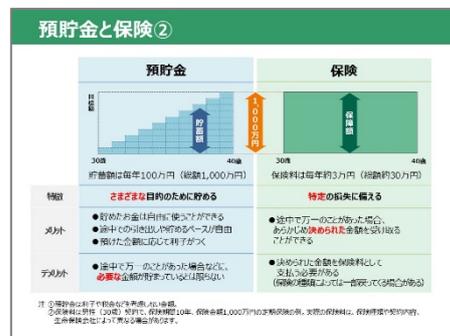
(資料 PPT)

(講師)

こちらが自助の代表的な手段である預貯金と民間保険のしくみです。預貯金は銀行などにお金を預けて、お金が必要になった時にお金を引き出して使います。民間保険は民間の保険会社にお金を支払い、リスクが発生した時にお金を受け取ることができます。それぞれどんな特徴、メリット、デメリットがあるか見てみましょう。

・自助の代表的な手段である預貯金と保険について、そのしくみと特徴を理解させる

・保険とは、保険会社に保険料を支払うことで、リスクが起こったときに保険金を受け取れる契約である



(資料 PPT)

(講師)

預貯金の特徴はさまざまな目的のために貯めることができます。メリットとして、貯めたお金は自由に使うことができます。途

27:00		<p>中で引き出すことも自由ですし、貯めるペースも自由に決めることができます。</p> <p>また、預けた金額に応じて利子がつき、お金が増えます。デメリットとして、途中で万一のことがあった場合などに、必要な金額が貯まっているとは限らない、という点があります。例えば、30歳から毎年100万ずつ貯めていた場合で、32歳の時に1,000万円かかるリスクが発生したとします。貯め始めてから2年なので、200万円貯まっていますが、これだと800万円足りない…といったことが起こりえるのが預貯金のデメリットです。</p> <p>一方で民間保険の特徴は特定の損失にそなえることができることです。</p> <p>メリットとして、途中で万一のことがあった場合、あらかじめ決められた金額、言い換えると保険会社と契約をして決めた金額を受け取ることができます。最初に1,000万円と決めて民間保険に入っていれば、リスクが発生した場合、預貯金のようにまだ貯まっていないから足りない、ということは起きず、1,000万円受け取ることができます。</p> <p>デメリットとして、決められた金額を保険料として保険会社に支払う必要があります。一般的に何もリスクが起きなければ、この支払った金額は戻ってきません。ただし、民間保険の種類によっては一部戻ってくる場合もあります。</p> <p>(講師) このように預貯金と民間保険にはそれぞれメリットとデメリットがあります。どちらが良いか、ではなく、特徴を押さえて自分の生活に応じて選択していくことが重要です。</p> <p>(講師) では、お金を払っていけばリスクが発生した時に支えてくれる保険…どんなしくみとなっているのでしょうか。</p> <p>ストーリー形式で解説するので、皆さん想像しながら聞いてください。</p> <div data-bbox="459 1646 906 1982" data-label="Diagram"> </div> <p>(資料 PPT)</p> <p>(講師) 100人の部員がいるサッカーチームがあります。このサッカーチーム、問題を抱えていて、毎年5人の部員が骨折をしてしま</p>	
-------	--	--	--

います。
対策をしてもケガが減らず、毎年必ず5人骨折してしまいま
す。

骨折をすると治療にかかる費用はひとり10,000円です。
皆さんならこの骨折する5人になりたいでしょうか？

→（骨折する5人にはなりたくないという反応）

そうですね。ケガをしてしまいますし、治療にお金がかかって
しまいます。

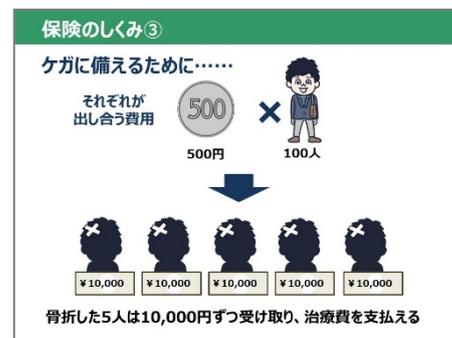
そこで、キャプテンがこんな提案をしました。

「全員で治療にかかる費用を準備すればよいのでは？」

治療にかかる費用はひとり10,000円、それが5人分で、部活全
体で50,000円となります。

この部活全体でかかる50,000円を部員全員、100人で負担する
と…ひとり年間500円支払えば50,000円集めることができま
す。骨折した部員はこのみんなで集めた50,000円の中から
10,000円ずつ受け取り、治療費にあてることができます。
あらかじめ500円支払っていたことで10,000円を受け取り、ケ
ガをした時のお金の負担に備えることができました。

図で表すとこのようになります。



(資料 PPT)

500円を部員全員、100人で出し合い、50,000円用意します。
骨折した部員はこのみんなで集めた50,000円の中から10,000
円ずつ受け取り、治療費を支払えます。

保険とはこのように、たくさんの人から少しずつお金を集め、
何かリスクが起きた人のもとに集めたお金を届ける、といった
しくみで成り立っています。

		<div data-bbox="459 114 908 450" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; margin: 0;">生命保険と損害保険</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%; background-color: #e8f5e9;">生命保険</th> <th style="width: 40%; background-color: #e8f5e9;">損害保険</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">対象</td> <td>人</td> <td>モノ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">受取額</td> <td>あらかじめ約束した金額 (定額給付)</td> <td>事故により発生した損害額 (実損填補)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">備えられる リスク</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 万一（死亡） ● 病気・ケガ ● 老後 ● 介護 など </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故 ● 火事 ● 台風や地震 など </td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right;">(資料 PPT)</p> <p>また、民間保険は生命保険と損害保険に大別されます。 生命保険は人、損害保険はモノを対象にした保険です。 例えば「人」が亡くなった時や「人」が老後を迎えた時に保障してくれるのが生命保険です。 車で事故にあった…車というモノ、家が火事になった…家というモノ、モノを対象に保障してくれるのが損害保険です。</p>		生命保険	損害保険	対象	人	モノ	受取額	あらかじめ約束した金額 (定額給付)	事故により発生した損害額 (実損填補)	備えられる リスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一（死亡） ● 病気・ケガ ● 老後 ● 介護 など	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故 ● 火事 ● 台風や地震 など	
	生命保険	損害保険													
対象	人	モノ													
受取額	あらかじめ約束した金額 (定額給付)	事故により発生した損害額 (実損填補)													
備えられる リスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一（死亡） ● 病気・ケガ ● 老後 ● 介護 など	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故 ● 火事 ● 台風や地震 など													

<グループワーク> 自助・共助・公助について考えよう 15分

時間	学習形態	(講師)	学習活動 (授業の流れ)	指導上の留意点
30:00	グループワーク		<p>ここまで、少子高齢社会におけるリスクに備えるための手段である自助・共助・公助について説明をしてきました。 最後に、今日学んだことを踏まえてグループワークをしたいと思います。</p> <div data-bbox="459 1218 908 1554" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px;">考えてみよう</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>社会保障制度を持続可能なものにするためには、「自助」「共助」「公助」がどのように組み合わせられればよいでしょうか。 今後の社会において「自助」「共助」「公助」のどれが一番大切だと思うかあなたの考えをまとめてみましょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・一番大切だと思うもの () に○をいれよう。 「自助」 or 「共助」 or 「公助」</p> <p>・そう考える理由は…</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">(資料 PPT)</p> <p>共助・公助である社会保障制度を持続可能なものにするためには、「自助」「共助」「公助」がどのように組み合わせられればよいでしょうか。今後の社会において「自助」「共助」「公助」のどれが一番大切だと思うか自分の考えをまとめてみましょう。周りの人と話し合ってみてください。</p>	<p>・学んだ内容を振り返り、持続可能な社会保障制度を維持するためには「自助・共助・公助」のどれが一番大切だと思うか、自分の考えをまとめる</p>
40:00		(生徒)	<p>→ある程度生徒の記入が終わったら、何人かに発表をしてもらう</p>	<p>(Q) ペア、グループで意見交換を行い、様々な考え方に触れる</p>

<終末> まとめ 5分

